

平成23年度（2011年）事業報告

（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

1. 試合の管理運営に関して

（1）世界（男子19／女子10／ユース男子2／ユース女子1）、東洋太平洋（男子26／女子6）、日本（38）の別記タイトルマッチ及びその他合計221興行（1762試合）の試合管理を行う。

〔別表1参照〕

（2）選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスの発給。発行総数4505件。

〔内訳〕

ボクサー	2538	トレーナー	598	タイムキーパー	12
プロモーター	93	セコンド	406	進行	7
クラブオーナー	276	マッチメーカー	4	アナウンサー	8
マネージャー	384	レフェリー	94	ドクター	85

〔ボクサーの内訳〕

	男子（うち外国人）	女子（うち外国人）	合計
A級	646（126）	34（17）	680（143）
B級	255（13）	17（4）	272（17）
C級	1540（0）	46（3）	1586（3）
合計	2441（139）	97（24）	2538（163）

（3）プロボクサー新人テスト実施

C級受験者総数（男子）	862名	合格者	512名	合格率	59.4%
C級受験者総数（女子）	19名	合格者	15名	合格率	78.9%
B級受験者総数（男子）	10名	合格者	10名	合格率	100.0%
B級受験者総数（女子）	1名	合格者	1名	合格率	100.0%

〔内訳〕

		北海道地区	東京地区	中部地区	関西地区	西部地区	合計	
男子	C級	受験者数	-	432	100	222	108	862
		合格者数	-	238	59	123	92	512
		合格率	-	55.1%	59.0%	55.4%	85.2%	59.4%
	B級	受験者数	-	7	-	1	2	10
		合格者数	-	7	-	1	2	10
		合格率	-	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%
女子	B級	受験者数	-	-	-	1	-	1
		合格者数	-	-	-	1	-	1
		合格率	-	-	-	100.0%	-	100.0%
	C級	受験者数	-	7	3	6	3	19
		合格者数	-	5	3	4	3	15
		合格率	-	71.4%	100.0%	66.7%	100.0%	78.9%

(4) 日本ランキング決定、発表（月例）

(5) 試合役員研修会（東京地区月日他原則毎月、他4地区は随時）
採点基準、レフェリング（反則処置）、事故防止他。

2. 安全防護に関して

(1) JBC・JPBA医事講習会及びセコンド講習会

[開催日時] 2011年8月29日

[開催場所] 後楽園ホール5階展示会場

[参加者] 110名

[講義内容]

①「パンチを受けた脳はどうか？ 特に脳震盪について」

講師 谷 諭コミッションドクター（東京慈恵会医科大学 脳神経外科教授）

②「スポーツにおけるメディカルチェックと試合・事故統計」

講師 大槻 穰治コミッションドクター（東京慈恵会医科大学 脳神経外科准教授）

③トレーナー講習

「ボクサーのコンディショニング ～スタミナアップのメニュー作成法～」

[概況]

リング事故のほとんどを占める急性硬膜下血腫の前提となる「脳震盪」から急性硬膜下血腫に至るまでのメカニズムに加えて、各種統計からメディカルチェックの重要性を解説し、さまざまな角度から業界関係者の安全防護に対する意識をより一層高め、事故の根絶を目指すべく防止策が討議された。講習会参加者全員に『講習会受講証明書』が配布された

(2) リング事故

公式試合中の頭蓋内出血を伴う事故は報告されていない。

3. 国際交流について

(1) 国際会議

①WBA（世界ボクシング協会）第90回年次総会

[開催日時] 2011年11月6日～11月12日

[開催場所] ウクライナ（ドネツク／The Plaza hotel Shakhtar）

②WBC（世界ボクシング評議会）第49回年次総会

[開催日時] 2011年12月12日~12月17日
[開催場所] アメリカ (ラスベガス/マンダレイベイホテル)

③OPBF (東洋太平洋ボクシング連盟) 第50回年次総会

[開催日時] 2011年12月13日
[開催場所] アメリカ (ラスベガス/マンダレイベイホテル)
[参加者] 30名
[協議事項]

(a) OPBF男子タイトルマッチの試合役員構成の変更

2012年より、男子のOPBFタイトルマッチは開催国のレフェリー、開催国のジャッジ、中立国のジャッジ、海外選手の所属する国のジャッジの試合役員4名にて行う。OPBF女子タイトル、または男子タイトルでも両選手が同国所属の場合はこれまで通りすべて開催国の試合役員4名にて行う。

(b) OPBF女子タイトルマッチのラウンド数の変更

2012年より、OPBF女子タイトルマッチは2分8回戦で行う。
(現行2分10回戦)

(c) その他

- ・重量級のOPBFチャンピオンをWBCランキングへ積極的に推薦する。
- ・将来的に日本またはOPBF圏内でのOPBF総会開催を検討する。

(2) その他

- ①WBA、WBC、OPBF、並びに各国コミッション関係者との交流(役員来日時随時)
- ②海外でのタイトルマッチに役員派遣
※内訳 WBC 12名、WBA 5名 [別表2参照]
- ③国際問題の処理について
- ④海外遠征並びに来日選手の各種試合契約の承認について

4. ボクシング功労者の表彰について

(1) 2010年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式

[開催日時] 2011年1月26日 (2010年12月28日選考)
[開催場所] 東京ドームホテル
[出席者] 269名
[表彰]

- ①プロの部 11部門 (13名、1団体)
- ②アマの部 6部門 (6名)

(2) 世界タイトル獲得並びにチャンピオンの引退について

①世界タイトル獲得

獲得日	タイトル	氏名 (所属)
1月31日	WBA世界スーパー・バンタム級	下田 昭文 (帝拳)
2月11日	WBC世界ミニマム級	井岡 一翔 (井岡)
5月8日	WBC女子世界ミニ・フライ級	藤岡 奈穂子 (竹原&畑山)
8月31日	WBA世界スーパー・フライ級	清水 智信 (金子)
9月22日	WBA女子世界ライト・ミニマム級	安藤 麻里 (フューチャー)
10月24日	WBA世界ミニマム級	八重樫 東 (大橋)
11月6日	WBC世界バンタム級	山中 慎介 (帝拳)

②チャンピオン引退

届出日	タイトル	氏名 (所属)
1月25日	OPBF東洋太平洋フライ級	大久保 雅史 (青木)
3月3日	OPBF東洋太平洋ミニマム級	黒木 健孝 (ヤマグチ土浦)
4月9日	OPBF女子スーパー・フライ級	藤本 りえ (協栄)
4月9日	WBA世界フライ級	坂田 健史 (協栄)
8月1日	OPBF東洋太平洋ライト・フライ級	家住 勝彦 (レイ・スポーツ)

5. 機関誌の発行について

- (1) ボクシング広報 (月刊)
- (2) 日本ボクシング年鑑

6. 選手記録 (戦績、診断の両記録カード)、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存 (継続)

7. 社会貢献活動

- (1) 「社会を明るくする運動」 (法務省主唱) への協力 (継続)

(2) 講演会の実施

①第3回少年院講演会

[開催日時] 2011年1月18日

[開催場所] 浪速少年院 (大阪府茨木市)

[講師] 山下正人氏 (真正ジム会長)

長谷川穂積氏 (元WBC世界バンタム級、同フェザー級チャンピオン)

②大阪府泉大津市立東陽中学校講演会

[開催日時] 2011年2月21日
[開催場所] 大阪府泉大津市立東陽中学校（大阪府泉大津市）
[講師] 山下正人氏（真正ジム会長）
長谷川穂積氏（元WBC世界バンタム級、同フェザー級チャンピオン）

(3) 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）支援活動

[義援金] 4,000,668円
[チャリティーTシャツ販売] 131,600円

8. その他

(1) 財団法人日本ボクシングコミッション第33回定例理事会並びに評議員会

[開催日時] 2011年2月18日
[開催場所] 後楽園飯店（東京都文京区後楽1-3-61）
[議案]

- ① 2010年度事業報告、同収支決算報告承認
- ② 2011年度事業計画、同収支予算承認
- ③ 役員人事改選
(新任評議員) 石原 康之 度紀 嘉男 (以上2名)
(退任評議員) 畑中 清詞 大鵬 健文 (以上2名)
- ④ 新公益法人移行について

(2) 財団法人日本ボクシングコミッション定例理事会

[開催日時] 2011年12月20日
[開催場所] 後楽園飯店（東京都文京区後楽1-3-61）
[議案]

- ① 2012年度事業計画承認
- ② 2012年収支予算承認

(3) 物故者

・大川 寛	元大川ジム会長	3月22日	(78歳)
・戸塚 伸二 (本名: 河合 伸二)	T&Tジム会長	4月27日	(64歳)
・宮川 和則	横浜光ジム会長	5月7日	(62歳)
・小島 茂	元JBC本部事務局長	8月26日	(80歳)
・石山 六郎	元東洋ジュニア・フェザー級チャンピオン	12月2日	(65歳)

(4) 紛争処理

(5) JBC・JPBA（日本プロボクシング協会）合同会議

(6) 年間優秀選手表彰選考他アマチュア関係者との協議

(7) 処分（倫理委員会）

①山田 武士（JBスポーツ／マネージャー）

[処分]ライセンス無期限停止（平成23年8月26日付）

[理由]

平成23年7月16日、他の格闘技団体の興行において、チーフセコンドとして関与したため。

②森川 常次（JBスポーツ／クラブオーナー）

[処分]戒告処分（平成23年8月26日付）

[理由]

前項山田武士に対する監督責任のため。

③儀間 謙英（渡嘉敷／ボクサー）

[処分]ライセンス取り消し

[理由]

平成23年6月30日、東京都内において覚せい剤取締法違反（所持）の現行犯で逮捕、起訴され、平成23年7月21日有罪判決を受けたため。

④渡嘉敷 勝男（渡嘉敷／クラブオーナー）

[処分]厳重注意

[理由]

前項儀間謙英に対する監督責任のため。